

NANZAN
UNIVERSITY

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

～デュナミス～

No.52 2007.10.1

CONTENTS

- 1 私の読書 数理情報学部教授：高見 勲
 2 学部長おすすめの本 経済学部教授：大谷津 晴夫
 4 在学生による図書館紹介 荒木 美咲、竹内 一希、岸 知恵実、荒川 恵美
 6 資料紹介 ～南山学園の歴史を辿る～ 図書選定委員：児玉 あずさ
 7 2007年4月より和書の遡及入力を開始しました 受入係：児玉 あずさ
 8 名古屋図書館からのお知らせ 閲覧・参考係
 10 データベース紹介 ～日経 BP 記事索引サービスの利用法と著作権について 電子情報係：伊藤 法子
 12 秋の図書館利用講習会のお知らせ 南山大学図書館秋の企画展のお知らせ 編集後記

私の読書

高見 勲

この話をする学生諸君に大変羨ましがられるが、私の大学1、2年は大学紛争のため幸か不幸か授業がなかった。小人閑有りて不善を為すということでもろくなことをしていなかったが、敢えて成果というならば、麻雀と、高木貞治の『解析概論』^{*1)}の読了に加えて、小説を読んだことである。進んで身に付けたわけではなく、他にすることがないので下宿でコタツに入って本でも読みながらいつの間にか寝てしまうというあまり人には推奨できない習慣である。今でも通学の地下鉄とバスの中で毎日本を読むがいつの間にか寝てしまう。読むのは文庫本ばかりである。軽いし安い。最近遠視になったせいか眼鏡を必要とするようになったが、文庫本の小さい活字でないと小説を読んだ気がしない。今まで週1、2冊のペースで文庫本を読んできたので、かなり溜まり、家のそこかしこに乱雑に置いてある。紙もセピア色になり、表紙も傷んでいるものが多くなった。先日引越しの折、愚妻がこの貴重な文庫本の山を見て、こともあろうに廃品回収で新聞紙と一緒に出してしまうと平然と言ったので、結婚この方したことのない夫婦喧嘩となるところであったが、そこは日頃学生相手に鍛えた忍耐力でかろうじて持ちこたえた。

私の好きな作家は、トルストイと山本周五郎である。トルストイの『戦争と平和』^{*2)}は3、4年に1回の頻度で読むので、冒頭の夜会の記述はすぐに思い出せる。面白いことに、この小説はすべてのページにわたって文字がびっしり印刷されており、余白が全くない。だから普通の本の半分のスピードでしか読めない。ナポレオンによるロシア遠征を背景と

して、人生すべて流転、世の中は絶えず運動しているという私の専門のシステムダイナミックスの考えを表現している。今の学問を専攻したのは潜在的にこの意識があったからかもしれない。数学や物理のことにも言及していて、運動量保存則や、ベクトルの合成法則の記述もあり、他の小説家には真似できない。山本周五郎は長編より短編が面白い。彼は若い頃世話になった質屋の名前をペンネームにしたり、直木賞受賞を断ったという偏屈なところがよい。ほろっとさせられたり、くすっと笑ったり、小さな感動を得ることで、心に振動を与え付着した垢を払い落としてくれる。電車の中で知らないうちにニヤニヤして、はっと周りを見渡すことがよくある。無名の武士が命を捨てて味方を勝利に導くが、その働きやその人物が誰にも認められずに忘れ去られてしまうという、なにか我々の人生に通ずるところがあり、身につまされる。最近は吉村昭と浅田次郎に凝っている。吉村は昨年亡くなったが、事実関係を克明に調査したノンフィクションが得意で、行間にその汗が感じられる。一方浅田は幽霊がよく出て来て、人を翻弄し、最後はほのぼのとした気分にしてくれる。読書は楽しい。これからも文庫本をせっせと読み続けるつもりだ。あと何冊読めるであろうか。これができなくなったら老人性痴呆症になったのだからその時は覚悟しろと愚妻に言っている。

(TAKAMI, Isao：数理情報学部教授)

南山大学図書館での請求番号

*1) 413K/40/C, 413L/40/D

*2) 081K/246-1/v.0659-1～6, 988L/208/v.5～7

学部長
おすすめの本

『公共性の構造転換』

『国富論』

大谷津 晴夫

「学部長おすすめの本」という題目をいただいてしばらくしてから、いざどういう本を学生に勧めようかと考え始めたときに、二つの点で内心いささか迷いが生じた。一つは、「経済学部長」としての立場から学生に読んでもらいたい本を選ぶべきなのか、それともそういう肩書きにとらわれずに、たまたま学部長職にある私が一教員の立場で勧める本でも構わないのかどうかという点である。二つ目の迷いは、近刊書に限定して選ぶべきなのか、それとも古典に属する著作にまで広げて選ぶべきなのかという選択にかかわる。あれこれ考えてみても、結局のところ現在私がおかれた境位に従って選択するしかないので、定年までの年数を数えるのに10指を必要としなくなった今の時点で私のこれまでの読書歴を振り返り、若い学生に是非とも読んでおいてもらいたいと思える本として2冊を選ぶことにした。

一教員の立場で一般の学生に勧める本としては、私は躊躇なしにユルゲン・ハーバマス(1929―)の『公共性の構造転換』(未来社、1973年／第2版、1994年)をあげる。原著は1962年に出ている。私が持っている邦訳本に押された蔵書印には1977年4月12日の日付が記されているので、博士後期課程で経済学説史・思想史や経済史を学んでいるときの26歳に購入して読んだことになる。私にとってこの本は色々な意味で衝撃的だった。

この本は、ヨーロッパの「市民社会」の起源と構造転換の過程を跡づけたものといえるが、まず引用している文献の範囲がすごい。哲学からはじまって社会学、経済学、歴史学、法学、政治学にまでおよぶ膨大な領域の文献を渉猟している。それでいて主題の追究は一貫し、些かもぶれていない。これだけ多種多様な材料の道草を食みながら、しかも本筋を踏み外さずに目的地までたどり着くというのは、並大抵の力量ではない。主題設定はヨーロッパの歴史と学問の伝統にしっかりと結びついており、その延長線上で新たな角度からの問題提起を行い、ヨーロッパ市民社会の「自己理解」を前進させるのに見事に成功している。

この本を最初に読んだときは、こうした奥行き深い仕事が30歳を少し過ぎたばかりの人間にどうしてできるのか不思議でならなかった。そもそもハーバマスが非凡な才能の持ち主であることはその後に発表された多数の著作をみれば明らかであるが、今は彼の仕事の豊穡性は、彼の知性の拠点が哲学にあることと無関係ではないと思っている。誤解を恐れずに言えば、ヨーロッパの哲学は人間と社会の有り様を観察し、自己確認し、たたずまいを整えるための「鏡」として実践的な役割を担ってきたのであり、その意味で決して



ユルゲン・ハーバマス 著
『公共性の構造転換』(第2版) 未来社、1994年
【請求番号：362K63/B, 362L/63/A】

趣味としての学問にとどまるものではないし、現実や経験を無視した机上の空論であってはならないはずのものである。ヨーロッパの哲学が本来こういうものである限りにおいて、ハーバマスがこのヨーロッパ哲学の伝統を正統に継承する嫡子であることに疑いの余地はない。彼にとって、哲学と社会学、さらには法学や政治学との間の差異は本質的なものではない。土台はつながっている。ヨーロッパ哲学の伝統に立ちながら、より経験的・専門的に分化した学問領域の新しい知見を求めて自由に越境していく。私はヨーロッパの知性の何たるかを、そしてその汲めども尽きない豊穡性の源泉がどこにあるのかを、ハーバマスを通して学んだように思う。そしてそうしたヨーロッパの知性、ならびにそれを支える市民的徳性に対する畏敬の念を覚えたのも、ハーバマスを通してであった。『公共性の構造転換』はヨーロッパ市民社会のもつ奥深い自己省察力や徳性を一身に体現した作品であり、日本において社会科学を志す者にとって今でも必読の文献であると考えている。

アダム・スミス (1723-1790) の『国富論』(1776) は「経済学部長」として勤めたい本である。今日の経済学の基礎を築いたのはスミスのこの著作であった。商業や交易はアリストテレスの影響を受けた学問伝統下では常に忌避の対象にされてきたが、スミスは利己心を堂々とインセンティブの中心に据えた上で、市場的交換を足場にして経済学の体系を再構築したのであった。私利の追求が結果的に社会的利益を増進させるという、「(神の)見えざる手」として有名な市場のパラドックスの是認と積極的活用が『国富論』の理論的骨格を形成している。それはヨーロッパの歴史的発展過程を「自然的自由の体系」(＝自由主義体制)の実現過程として観察する彼の理論的な枠組みにもなっている。

ベルリンの壁とともに社会主義が崩壊したことによって自由主義体制の優位性が歴史によって実証され、世界の秩序はスミスの「自然的自由の体系」の理想郷に達して、「歴史の終わり」を迎えるかと思われた。しかし歴史の奸計は常に人知の上をいくようである。グローバル規模での市場化はむしろ各方面で軋轢を作り出し、混沌を増幅した結果、人々は教科書通りにいかない世界の現実を前にして途方に暮れ、有効な処方箋を提示できない経済学に対しては厳しい目を向けるようになっていく。

時代が方向感覚を失ったときには、再度原典に立ち返ってみるのもよい。『国富論』の新訳が今年の3月に日本経済新聞社から出されたが、これも古典回帰の動きの反映かもしれない。『国富論』は大部の著作だから短時間で読むことはできないが、決して難解な本ではない。理論・経済史・学説史・財政学の各領域主題を豊富な資料を使いながら平易な語り口で叙述している。邦訳は数種類出ているが、私は大河内一男監訳の中公文庫版を勧める。解説のための注や図版が適宜挿入されていて、文章も読みやすい。

グローバル化社会における世界市民としての在り方について主題化される機会が、今後ますます増えていくものと思われる。『公共性の構造転換』と『国富論』は、そうした問題を議論する際の必読文献でもある。社会科学に関心のある学生には是非とも読んでおいてもらいたい2冊である。



アダム・スミス 著：大河内一男監訳
『国富論』1～3 (中公文庫) 中央公論社、1978年
[請求番号：081K/2404/v.0-89-1～3]



在学生による図書館紹介

南山大学図書館では、利用者の方々が様々な立場で図書館運営に関わってくださっています。ここでは、図書館研修生、学生アルバイト、司書課程受講生を経験された学生利用者の方々に、図書館を紹介して頂きました。

私の図書館利用法

私にとって図書館は、大学生活の中で多くの時間を過ごしてきた場所です。では、どんなときに図書館で時間を過ごしてきたのかをお話することで、私の図書館利用方法をご紹介しますと思います。主に4つのときに私は図書館に行きます。

まずは、小説が読みたいと思ったとき。ブラウジングコーナーに立ち寄り話題の小説を借りて帰ります。次に、レポート課題やゼミでの発表のための資料が必要なとき。図書館にある膨大な資料を活用しました。次に、興味を持った分野の入門書を探るとき。分野科目やテーマ科目、他学部の科目を履修し興味を持つと、指定図書のコナーを探して各分野の教員が選んだ本を参考にしました。最後に、なんとなく時間が余ったとき。雑誌を見たり、書架の間をぶらぶら歩いたりしました。

以上が私の図書館利用法ですが、いずれにしても自分の欲しい情報をどのように探し出すかがいつも難題でした。『図書館のプロが教える「調べるコツ」：誰でも使えるレファレンス・サービス事例集』（015K/275, 015L/275/A）は物語風に分かりやすく、図書館員が資料を調べるコツが書かれています。調べ物の精度をあげたい方にお薦めです。

(ARAKI, Misaki : 図書館研修生 荒木 美咲)

私の図書館利用法

図書館アルバイト職員の作業内容のひとつに「返本作業」という仕事があります。返本作業とは利用者の方が読み終わってカウンターに返却された本や、図書館内で利用され返本台に置かれている本を本棚の元の位置に戻す作業のことをいいます。私はこの作業をこなす過程で、とにかく図書館内の全フロアを歩き回りますが、職業病なのか、利用者として立ち寄ったときにも、フロア内を歩き回る癖がついてしまっています。しかしこの癖のおかげで、思わぬ掘り出し物に出会える可能性もあるので、そうばかにしたものじゃありません。もしかしたら、偶然見かけて手に取った本が私の人生を変える…なんてこともありえなくはないのです。ですから皆さんも、図書館にいらしたときには積極的に歩き回ってみてください。素敵な（本との）出会いの予感と、運動不足の解消とで一石二鳥です。

オススメの本は…、そうですね。個人的にはいろいろとありますが、『指輪物語』（B933K/2930/v.1～9, B933L/2930-1/v.1～6）や『ライオンと魔女』（B933K/2802/v.1/A, B933L/2802/v.1）など映画化された本は、多くの人が高く評価していますので、一度手にとってみてはいかがでしょうか。

(TAKEUCHI, Kazuki : 図書館学生アルバイト 竹内 一希)

研修生を経験して

私は昨年の秋学期・今年の春学期に図書館で研修をしました。利用者から見た図書館では、司書といえば、貸出・返却カウンターやレファレンスカウンターにいる人と思われるかもしれませんが。本当は、1階のカウンターや2階の奥を中心に多くの職員の方が働いてみえます。利用者の方に最も身近なもののひとつである OPAC (NeoCILIUS Knowledge OPAC) もここで管理されています。OPAC で提供されている書誌データは、全国の多くの大学図書館が利用しているデータベース (NACSIS-CAT) からダウンロードします。このデータベースの書誌・所蔵データを各大学図書館が作成・共有することで、お互いの蔵書を利用しあえる仕組みになっています。図書館は、多くの職員の方に支えられ、他の図書館とも協力しあっています。図書館は、静かで落ち着いている場所ですが、常に活動をしていることを感じました。

■ おすすめの一冊

『猫の紳士の物語』メイ・サートン著、武田尚子訳 A933K/3708

誇り高い野良猫が、家付き・庭付きで心地よい「ハウス・キーパー」を探す物語です。この猫はまさに紳士という言葉がふさわしい猫です。猫好きな人に特におすすめです。

(KISHI, Chiemi : 図書館研修生 岸 知恵実)

図書館研修を終えて

「司書って、分類番号覚えるのが仕事でしょ？番号順に本並べてるだけじゃん！」これは大きな誤解だ。司書課程を履修し、一年間の図書館研修を経た今、「司書はそんな薄っぺらな仕事じゃない！」と断言できる。図書館での仕事は多岐に渡り、私たちの目に触れるのは、そのごく一部でしかない。昨年度、図書館研修生として選定と返本に参加し、そう実感した。

選定では、購入の可否が、複数の観点・人によって慎重に見きわめられた上で判断され、そして、その繰り返しで南山の蔵書を構築している。また、返本は一見単調な作業に見えるが、破損資料の発見なども兼ねており、スムーズな図書館運営に不可欠だ。何より、利用の最前線に立つことで貸出状況を実際に確認でき、利用者のニーズ把握につながる。

他大学には、検索用 PC の使用が許可制だったり、蔵書が効果的に活用されていなかったりする学校もある。私は「うちの図書館ってすごい！」とよく感じるが、困った時は諦めず、とにかく図書館員の方に相談するべきだと思う。どなたも全力でサポートして下さい。

進路を考える際にも図書館研修は有益だった。司書課程受講者には、参加を勧めたい。

(ARAKAWA, Emi : 司書課程・図書館研修修了生 荒川 恵美)

資料紹介

～南山学園の歴史を辿る～

2007年、南山学園は創立75周年を迎えました。これを記念して、今秋75周年記念誌が刊行されます。これまでも節目を迎える年には学園史料が刊行されてきました。そこで、今回は図書館に所蔵している南山学園（主に南山大学）に関する資料を紹介します。これらの資料で学園の歴史を辿ってみませんか。

南山学園・南山大学の歴史に関する資料

■ 南山学園の歩み 1964年出版

請求番号：377.2/133

南山学園で初めて刊行された学園史。「学園設立まで」「南山中学校の発足」「拡充の時代」「苦難の時代」「学園の新発足」「大南山への道」の6章にわたって構成されている。「大南山への道」では、大学が山里町のキャンパスに移転し、図書館が新設される際の様子が記されている。

■ 南山学園と六十年の歩みを共にして／小山千鶴子著 1992年出版

請求番号：377.2K/847 377.2L/847/A

南山中学高校友の会会長を務められた小山千鶴子氏の著書。南山学園と60年の歩みを共にした体験や想い出が描かれている。

■ 南山大学五十年史：写真集／南山大学50年史作成小委員会編 1999年出版

請求番号：377.2K/848-A 377.2L/848-A/A

■ 南山大学五十年史／南山大学50年史作成小委員会編 2001年出版

請求番号：377.2K/848 377.2L/848/A

大学創立50周年を記念し南山大学として初めて刊行された大学年史。まず写真史が刊行され、それに続き年史が刊行された。年史には大学創立以来の出版物の情報が詳細に記録されており、写真集には創立前史からの500枚を超える貴重な写真が収録されている。

■ 私の中の南山：先達による歴史への証言集／南山大学オーラルヒストリー担当小委員会編 2001年出版

請求番号：377.2/890 377.2L/890/A

南山大学創立50周年記念事業の出版物。南山大学の前身、南山外国語専門学校時代の関係者を含む教職員、卒業生等約40名のインタビュー記録。

上記の他、75周年記念事業の一環として学園の歴史を辿る南山学園史料集の刊行が開始されています。

■ 75th Anniversary Nanzan Archives News／75周年記念誌編纂委員会編 Vol.7まで発行（2007.8現在）

請求番号：Z/370/N48

■ 名古屋外国語専門学校史料集／南山学園創立75周年記念誌編纂委員会編 2005年出版（南山学園史料集）

請求番号：377.2/974/v.0-1/A 377.2L/974/v.0-1

■ 名古屋聖霊学園史料集／南山学園創立75周年記念誌編纂委員会編 2006年出版（南山学園史料集）

請求番号：377K/511 377L/511/A

この他にも下記のような資料があります。

南山学園創立者ライネルス氏に関する資料

■ ライネルス師とその人柄 青山玄著 1994年出版

請求番号：198K/3023 198L/3023/B

■ ヨゼフ・ライネルス師と南山中学の創立／リチャード・ジップル著 2002年出版

請求番号：376.3/233 376.3L/233/A

南山大学第3代学長ヒルシュマイヤー氏の著書

■ 人間の尊厳のために：南山大学の教育理念について 1979年出版

請求番号：377.2K/572 377.2L/572/A

南山学園第8代理事長シモン氏の著書

■ 人間の尊厳のために：ペドロ・シモン スピーチ集 1992年出版

請求番号：377.2L/865 (南山学園創立60周年に刊行されたもの)

■ 南山学園の明日 1999年出版

請求番号：377.2K/889 377.2L/889/A

■ 福音と教育 2000年出版

請求番号：377/468 377L/468/A

南山学園の設立母体：神言修道会に関する資料

■ み言葉の使者：神言会創立者福音ヤンセン神父の生涯 E.J. エドワーズ著 1975年出版

請求番号：198K/365/A 2004年出版の第2版あり 請求番号：198K/4387

■ 神言会と聖霊会：日本管区の現状と展望 1875-1975／吉田聖責任編集 1975年出版

請求番号：CAT2-1/021/2 (カトリック文庫)

(KODAMA, Azusa：図書選定委員 児玉 あずさ)

2007年4月より和書の遡及入力を開始しました

皆さんは、読みたい資料（図書）の所蔵や所在を知りたいとき、何を使って調べますか？大半の学生はOPAC（Online Public Access Catalog）で検索すると答えるでしょう。しかし、このような検索システムが整えられる前は、カード目録を引いていました。

● 遡及入力とは ●

南山大学図書館でも、1985年4月以降に受け入れた資料は全てNeoCILIUS Knowledge OPACで検索することができますが、それ以前に受け入れた資料（図書）についてはカードで目録が作られています。どれも20年以上前の図書ばかりですが、中には今でもよく利用される図書もあります。そこで、それらの資料をOPACで検索できるように、昔のカード目録のデータを入力していく作業を

● 今後の計画 ●

名古屋図書館には約63万冊の蔵書がありますが、そのうち約14万冊（洋書：10万冊 和書：4万冊）は、まだOPACに未入力です。2007年度から2009年度の3年計画で和書4万冊の入力を全て終える予定です。2007年4月から閲覧室の開架資料：分類番号000Kから順次入力を始めています。

終了すれば南山大学名古屋図書館に所蔵する全ての日本語資料がOPACで検索できるようになります。ほとんどの資料が取り寄せ可能ですので、瀬戸キャンパスの方もぜひご利用ください。

(KODAMA, Azusa：受入係 児玉 あずさ)

名古屋図書館 からのお知らせ

名古屋図書館 2 階閲覧室に書架を新設！

2 階閲覧室、三宅文庫の奥に新しい書架ができました。それに伴い一部蔵書を移動しましたのでお知らせいたします。

	変更前		変更後
文庫・新書	地下 1 階		2 階閲覧室 低書架
和法判例（継続購入中）	2 階閲覧室		2 階閲覧室 新設書架
和法判例（継続打ち切り）	2 階閲覧室		地下 2 階 電動書架

旧

2 階 閲覧室 社会自然科学系 300K~699K など



新

2 階 閲覧室 社会自然科学系
300K~699K など
新書・文庫

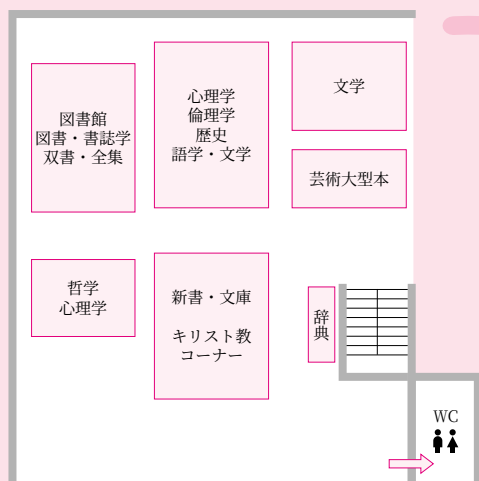


地下1階閲覧室の蔵書配列方向を次のように変更しました。

総記（分類番号010K）～心理学・心理各論（分類番号141K）の一部までの蔵書配列方向を逆にし、心理学・心理各論の蔵書をさがす場合に便利になりました。

旧

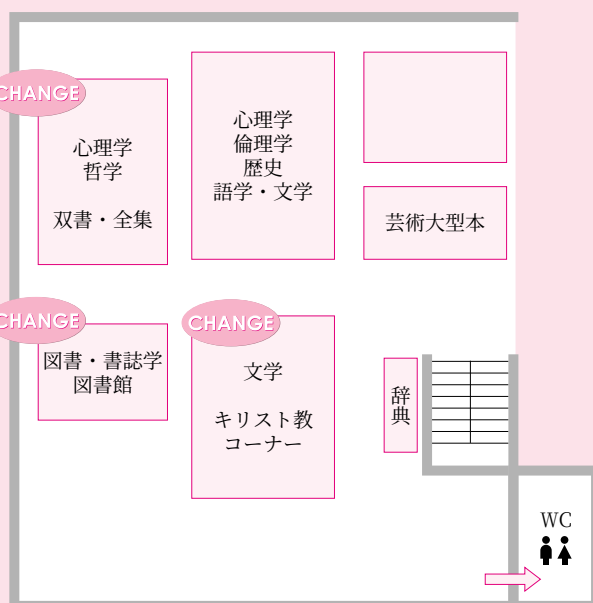
地下1階 閲覧室 人文科学 000K～299K 700K～999K



CHANGE

CHANGE

CHANGE



地下1階 閲覧室 人文科学
000K～299K 700K～999K

新

図書館では、これからも皆さんが利用しやすい図書館をめざして更なる改善を施して行きたいと思っています。ご意見、ご提案があれば是非お寄せください。

名古屋図書館入口ホールに「飲食スペース」を設置！

ご存知の通り、図書館内は飲食禁止です。しかし、利用中にお腹が空いたり、のどが渇いたりすることがあるかと思えます。そのような時、またちょっとリフレッシュしたい時にご利用いただける「飲食スペース」を今春より図書館入口ホールに新設しました。どうぞご活用ください。

Q：どうして図書館内で食べたり、飲んだりしてはいけないの？

A：図書館にある資料は、大切な皆さんの共有財産ですが、その資料を汚してしまう恐れがあります。それに、食べたり飲んだりする音や匂いは、まわりの人にとって迷惑ですよね。



（閲覧・参考係）

データベース紹介

日経 BP 記事索引サービスの利用法と著作権について

2007年4月から、新たに利用できるようになったデータベース「日経 BP 記事索引サービス」を紹介します。

「日経 BP 記事索引サービス」とは？

日経 BP 社が発行する専門誌の記事を、オンラインで検索・閲覧できるシステムです。経済・経営、ITを中心に約40誌がデジタルデータ化されています。最新版の記事は、雑誌発売日1週間後に反映されます。目的別利用例としては、「レポートや卒業論文の作成」、「就職活動での企業分析」、「社会・経済動向の把握」、「パソコンのスキルアップ」などがあります。それぞれの用途に応じて、有効に役立ててください。

著作権を守って、正しく使いましょう！

日経 BP 社のニュース・記事全般を利用する際の著作権についての注意です。

■記事の改ざんを禁じます。また、論文等に引用する場合は、必ず出典を表記してください。

（例）日経ビジネス2006年5月15日号、p.41、日経 BP 社

■記事データの無断配布・複製を禁じます。（以下のことは禁じられています）

- ①記事データを複数印刷（またはコピー）したものを友人などに配布したり、メールの添付ファイル送信すること。
- ②記事データを複数人がアクセスできる場所に置いて、情報共有化を図ること。

その他、〈<http://www.nikkeibp.co.jp/info/copyright/>〉も併せてご参照ください。

雑誌別利用件数ランキング(2007年度上期)

No.	雑誌名
1	日経ビジネス
2	日経コンピュータ
3	日経情報ストラテジー
4	日経 SYSTEMS
5	日経情報レストラン
6	日経ベンチャー
7	日経パソコン
8	日経エレクトロニクス
9	日経ものづくり
10	日経ソリューションビジネス

データベース（DB）の使い方

DBにアクセスするには図書館 Web ページ〈<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>〉の【電子ジャーナル・DB】から各図書館の「日経 BP 記事検索サービス」を選んでください。

日経 BP 記事検索サービス・トップページ



【検索方法】 トップページ右上から目的に応じた検索方法を選んでください。

- キーワード検索
- 複数条件検索
- 雑誌名 & 発行年検索
- 会社名検索



【例】 複数条件検索（エキスパート検索）

■ フリーワード（5つまで設定可能）、発行期間、雑誌名および関連グループ、業種が設定できます。



- ①フリーワード：「デザイン」、「コンピュータ」
- ②雑誌公開時期：「1ヶ月以内」
- ③雑誌の絞込み：なし
- ④業種指定：なし

【検索結果】



検索結果として、検索条件に合致する記事のタイトル名や掲載雑誌・月号、ページ数等の情報を表示します。

「テキスト版」「PDF版」のいずれかを選び、記事を開覧してください。

※「日経 BP 記事検索サービス」利用および著作権についてのガイドブックは、図書館閲覧室に設置してありますので、ご自由にお持ちください。正しい使用法で上手に活用してください。

(ITO, Noriko：電子情報係 伊藤 法子)

😊 お申し込み
お待ちしております！

秋の図書館利用講習会のお知らせ

今秋学期も、恒例の図書館利用講習会を開催します。講習会は、下記期間中みなさんの申し込みを受けて随時行います。どしどしお申し込みください。

内容はレポートや卒論執筆に必要な学術論文の集め方や Web からの依頼方法*、役立つデータベースの紹介・説明など、すぐに使える有益な情報満載です。さらに、個人やグループ向けの講習会は申込者のご希望にあわせた内容にすることが可能です。卒論執筆にラストスパートをかけているみなさんもぜひどうぞ！（*Web からの文献複写・相互貸借依頼は教職員・大学院生・学部4年生限定です）

開催期間 10月1日(月)～11月30日(金)の月曜から金曜

開催内容

- 個人・グループ向け講習会（60分）
- 卒論執筆のための資料検索講習会（60分）
- ゼミ・授業単位の講習会（90分）

申込先 受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンター

※先着順です。人数、内容、時間などご相談に応じます。

※詳細は各図書館レファレンス・カウンターまでお尋ねください。

南山大学図書館 秋の企画展

あの先生や、あの人も南山大学図書館に所蔵する
おススメの一冊を紹介しています！

『秋の夜長におススメの本 ニノ巻』

瀬戸図書館

期間 2007年10月22日(月)～2007年10月28日(日)

場所 瀬戸図書館 ブラウジングコーナー 横

名古屋図書館

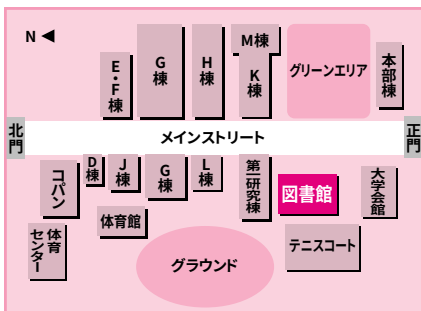
期間 2007年10月30日(火)～2007年11月11日(日)

場所 名古屋図書館 1階ブラウジングコーナー

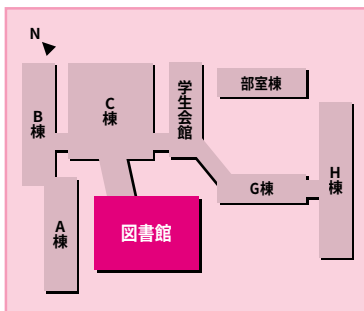
秋風にふかれながらあなたも読書を楽しんでみませんか？

《編集後記》

図書館利用者による書評も並ぶ秋の企画展。すてきな本をたくさん紹介していますのでお楽しみに。(石)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.52

2007. 10. 1 発行

http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/
発行：南山大学図書館 広報委員会
編集委員：石田、中島、夏目
印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
Phone:052(832)3707/Fax:052(833)6986
※図書館Webページでもご覧いただけます。